

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 5 月 7 日

評価対象事業	文観 - 17	観光振興支援事業	☐ 法定受託事務
所管課	観光課		評価者 観光課長 中澤 準
一般	会計	款 40	項 05
総合計画上の位置付け	分野名	観光	施策の方針名 観光振興の推進

1 事業の目的

対象	観光客等	意図	観光事業者、観光団体、市民・市民団体等様々な観光主体が一体となり、地域全体で観光振興を図るため。
効果	観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につなげる。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業（事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	観光振興支援事業等	観光振興支援事業等	観光振興支援事業等
予算額（千円）	25,756	30,461	
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	25,756	30,461	0
当初人員配置数	0.5	0.5	0.0
人件費（千円）	4,269	4,413	0
事業実績	観光振興支援事業等		
決算額（千円）	24,747		
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	24,747	0	0
人員配置実績数	0.5	0.5	0.0
人件費（千円）	4,142	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7 (上段実績、下段経費（千円）)	R8	R9
活1	指標名 鎌倉ビーチフェスタ参加者数	人	23,000	⇒	15,000		
	実績につながる活動 ビーチフェスタ実行委員会の一員として負担金を支出し、運営支援を行った。				1,100		
活2	指標名 俳句&ハイク投句数	句	4,176	⇒	3,898		
	実績につながる活動 周遊観光を促すため、実行委員会へ負担金を支出し、活動支援を行った。				486		

活3	指標名	鎌倉まつり、鎌倉花火大会における警備に起因する重大な事故件数	件	0	0	0		
	実績につながる活動	住民、観光客双方にとって安全安心な環境が維持するため、業務委託により事業運営の警備を実施する。				23,162		
活4	指標名	俳句&ハイク事業負担金	千円	486	⇒	486		
	実績につながる活動	観光振興の充実を図るため、俳句&ハイク事業実施に係る負担金を交付した。				486		
活5	指標名	鎌倉ビーチフェスタ事業負担金	千円	1,100	⇒	1,100		
	実績につながる活動	観光振興の充実を図るため、鎌倉ビーチフェスタ事業実施に係る負担金を交付した。				1,100		
活6	指標名	主要観光行事安全対策負担金	千円	24,170	⇒	23,161		
	実績につながる活動	鎌倉花火大会等短期集中的に発生する混雑対策に係る負担金を交付した。				23,161		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	天候、俳句&ハイクの愛好者の減少
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	悪天候によりビーチフェスタの一部イベント、鎌倉花火大会が中止になったことや俳句&ハイクの愛好者の減少により、前年度を下回る結果となった

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
					実績			
成1								

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	各事業は負担金の支出のみであることやアウトプットとなる取組が直接施策指標に寄与することから、アウトカム指標を設定することはなじまない。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☐ 市	☐ 国・県	☒ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出していない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
	公平性	関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
方向性		評価実施年度の方向性	⇒ 評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する	→ ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 事業へ統合
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☒ ⑤ 予算規模は現状維持とする ☐ ⑥ 予算規模は拡大する ☐ ⑦ 予算規模は縮小する	

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応	結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果	前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題	新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性	新たに認識された課題はなかったため検討なし		
総評	鎌倉の主要事業ある鎌倉3大祭りや鎌倉の地域性にかなった鎌倉ビーチフェスタは観光振興として安全安心な事業運営を継続的に実施していくものの、俳句&ハイクは愛好家の減少により投稿数も減少していることから負担のあり方を検討していく。			上位施策への寄与度
				A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項	入込観光客数（上段：令和6年・下段：令和5年） 単位：千人								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	15,942	20,401	2,313	7,524	8,381	10,320	601	840	4,514
	12,284	19,608	2,813	6,921	8,326	8,911	638	853	4,709
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	横浜市や箱根町など神奈川県内で有名な観光地をベンチマークとして設定している。								